

幸せの連鎖

《高校生・一般の部 金賞》

基町高等学校一年 高橋 夏稀

自分らしさとは何か。唯一無二の意見、他人とは違う性質、このような考えが浮かぶのではないか。反対に相手に合わせることは否定的に取られる。しかし私は、相手に合わせることは価値観の共有であり、新しい発見でもあると思う。つまり、自分らしさとは一概に一人のことを指すのではなく、つながりの一部を指すと考える。

自分らしく幸せに生きるとは自身の幸せが誰かの幸せにつながることをだと考える。自分も相手も尊重した上で得た幸せは誰かの幸せにつながる。「幸せの連鎖」である。そのアプローチの仕方に違いがあるのが自分らしさである。

私は将来子供と関わる仕事に就きたい。特に心をサポートしていける人になりたい。私にとっては子供たちの心に寄り添い生き生きと生活してもらえることが幸せであり、子供にとっては少しでも心が晴れ、楽しめるようになることが幸せである。このように自分の幸せが誰かの幸せとなり連鎖していくことが社会全体の幸せにつながると私は考える。

幸福を実現した社会

《高校生・一般の部 銀賞》

舟入高等学校二年 松田 佳恋

「自分らしく幸せに生きる」人生を送るためには、自分の幸せも他者の幸せも同じように願うことが大切だと考えます。

私の周りには優しい人が沢山います。困ったときいつも手を差し伸べてくれる、心優しい人ばかりです。しかし同時に、優しいが故に自分の幸せよりも他者の幸せを優先し過ぎてしまい、結果として傷付いてしまう人もいます。他者の幸せを願ううちに、自分が妥協できない点を譲ったり、自分の意見を押しこめたりと、知らず知らずのうちに自分を押し殺してしまうのです。私は、他者の幸せも自分の幸せも両立できるようになれば、お互いが「自分らしき」を大切にしたい幸せな人生を送ることができるようになると思います。それは決して簡単なことではありません。しかし、例えば話し合いのときに自分の意見を言えていない人はいないか周りを見渡してみたり、何かを譲られそうになったときに本当にそれでいいのかも一度確認してみたりと、小さなことでもできることは沢山あります。

誰もの幸福を願える人間になりたいです。

自分らしく幸せに生きること

《高校生・一般の部 銅賞》

広島修道大学ひろしま協創高等学校一年 生徒

私にとって、「自分らしく幸せに生きる」とは、変化し続けることだと思います。

実際、私の興味のあることや将来の夢は変化し続けています。小学生の頃はもの作りが大好きで、将来は建築系の仕事に就きたいと思っていました。しかし、今は英語や医療関係に興味があります。そして、今、興味のあることが、五年後、十年後に変わっている可能性もあります。しかし、私は変化はとても良いことだと思います。なぜなら、変化による新しい発見や考え方が人生をより豊かにしてくれるからです。

ただ、変化するには挑戦が必要不可欠です。だから、私はどんなことでも、まずは目標を決めて挑戦するという考え方を大事にしています。例えば、私の今の目標は、外国の人と英語で話せるようになることです。この目標を、計画や実行、結果に繋げていきたいです。

このように、時の流れや挑戦などによる自分自身の変化や成長を楽しむことが、「自分らしく幸せに生きる」ということだと思います。

個性と幸せ

《高校生・一般の部 銅賞》

広島修道大学ひろしま協創高等学校二年 伊藤 健吾

自分らしく幸せに生きるとは、他人の期待や社会のプレッシャーに左右されず、自分の価値観や興味に従って生きることだと思います。僕にとつての「自分らしさ」はファッションを通じて自己表現をする事です。高校に入った頃から服やアクセサリーのデザインに興味を持ち、自分のアイデアを形にする楽しさに魅了されました。僕は将来ファッションデザイナーとして自分のブランドを立ち上げたいと思っています。ファッションデザイナーをしている叔母に服のセンスを褒められ、この仕事に興味をもつようになりました。また、自分が幸せであるためには周りの人も幸せであることが大切です。皆が自分らしさを尊重し合う社会になればより多くの幸せを見つかけられると信じています。地域でファッションワークショップを開催するなど多様な個性が発揮できる場の提供が幸せを感じるきっかけになると考えています。勇気を持って自分らしく生きる事で本当の幸せを手に入れることができると思います。そして自分らしさを大切にすることが増える事を願っています。

交点で見つけた主張の積み重ね

《高校生・一般の部 入選》

広陵高等学校一年 西村 美愛

私は完全に自分らしく幸せに生きることが難しいが、「自分らしさ」と「幸せ」は丁度よく交わる点があると考える。

私は自分らしく幸せに生きることが可能かと問われると即答できない。完全に自分らしく生きれば他人の自分らしさを傷つけかねず、それが原因で人間関係に溝を生んでは幸せとも言い難い。しかし妥協のし過ぎも自分らしく生きることには繋がらないからだ。

しかし人と円満な関係を築く上でやはり妥協は必要である。そこで関係を築くに当たって妥協点を模索し、交点を見つけることが最善策だと考えた。「自分らしい妥協点を見つけることで同時に幸せも見つける」のである。

実際に私は人間関係において円満を意識するあまり妥協し過ぎ、意見を主張できない。しかし自分らしく生きる機会を逃がしていると感じ模索の上、意を決し主張した。結果、自分らしさを表現できたことで幸せを感じた。

そういった日々の自分の意見や考えの主張の積み重ねを振り返った際、自分らしく幸せに生きていると実感するのではないだろうか。

場面ごとの「自分らしさ」

《高校生・一般の部 入選》

舟入高等学校二年 三浦 桃奈

私は、人生の場面ごとに異なる、一番過ごしやすい自分であることが、幸せに生きるために大切であると考える。

コロナ禍での休校により、三ヶ月ぶりの他人とのコミュニケーションの場となった、中学一年生。元々多くの人と会話するタイプでなかった私は、人と話すときの距離感を掴めなくなってしまうていた。つい敬語交じりの堅い話し方になり、校外にいる時と違う自分であるように感じられ、そこに不安を感じていた。しかし、そのまま過ごしていく内に、クラスメイトが「その丁寧なところが好き」と言ってくれた。皆が受け入れてくれたことで、違う自分だと感じていたものを、自分の一面として受け入れることができたのだ。

「自分らしく生きる」とは、いつも一貫した変わらない自分であるのではなく、その時自分がどんな人でいたいかを大切にしていくなことは無いだろうか。無理に過ごし方や性格を変えることなく、誰もが、いつも自然体であることが、幸せに生きられる社会につながると、私は思う。

本当の自分

《高校生・一般の部 入選》

広島修道大学ひろしま協創高等学校 生徒

「自分らしさ」とは、他者にとらわれず自分の価値観や性格を尊重している状態をさします。私は、自分らしさを守って生きていくためには、本当の自分を見失わないことが大切だと思います。

私達は生活の中で、友人などから「あれって○○ぽいよね」「○○らしいよね」という言葉を聞くことがあります。他人の印象による自分らしさや、自分が自分の、こうありたいという願望を詰めた、うその自分らしさにとらわれ、自分はどのような人間なのか分からなくなることがあると思います。そうすると私達は、本当の意味で「自分らしく幸せに生きる」ことができなくなってしまう。なので私は、本当の自分を見失わないことが大切だと思います。

近年では進学や就職などで、自己アピールや面接を求められることが増えています。そんな時に、自信を持って自己を表現できるように、本当の自分らしさを持つて生きていこうと思いました。

自分の本当の気持ちに正直に

《高校生・一般の部 入選》

広島修道大学ひろしま協創高等学校二年 生徒

私には大切になっている言葉がある。それは「他人ウケより自分ウケ」である。

この言葉は私の友人が教えてくれた言葉である。友人は性同一性障害、いわゆるトランスジェンダーだ。中学二年の時に仲良くなり、今でも大切な友人の一人だ。彼女は周囲の人になんと言われようと、自分の道を歩んでいる。今、世の中では多様性という言葉をよく聞く。だからこそ、自分らしさを大切にしていかなければいけないと思う。一人一人が、周囲の意見や考えに惑わされず、自分を確立していくことで皆が生きやすい社会になるのではないかと思う。男らしさ、女らしさなど男女で決めるのではなく、一人一人が得意な事を生かしていけば良いと思う。

自分らしく生きていくことで、一人一人が生きる希望や意味を見いだせるのではないかと思う。互いの意見や考えを否定することなく、尊重しあっていきたい。自分の気持ちに正直に生きること自分らしさを大切にしていきたい。

自分を理解し、何事も愉しむ

《高校生・一般の部 入選》

広島皆実高等学校二年 梶本 有希

自分の長所や短所を理解して、色々なことを愉しみ過ごすこと。これが私の考える「自分らしく幸せに生きること」である。

人には、それぞれ長所・短所があり、長所は自分で見つけることが難しく、短所は自分の嫌だと思う部分である。例えば部活でスポーツをやる時。自分にできていること・課題を見つけて考えながら練習をして、できることを増やしていく。このように、自分の長所と短所を理解していないと、「自分らしさ」というものは生まれてこない。私は考える。

「何事も愉しむ」こと。これは私の所属している部活動の先生が仰っている言葉だ。この「愉しむ」には、何か心から楽しむ、喜ぶという意味がある。人に言われたことをただやる・こなすだけでは気持ちも落ち込んでしまう。どんな事でも愉しむことで、幸せに生きることにつながる。私は考える。

「自分らしく幸せに生きる」こと。自分ではなかなか意識しづらいことであるが、自分自身を理解し、何事も愉しんでやればできることであると私は考える。

ありのままの自分を隠さないこと

《高校生・一般の部 入選》

広島皆実高等学校二年 小谷 優梨亜

私が考える「自分らしく幸せに生きる」とは、ありのままの自分を隠さないことだと思います。人は、身体や心が成長するにつれ、他人と自分を比較し、他人と違うことを恐れるようになります。そうしていくうちに人は気づかないうちに本来の自分を隠すようになるのです。身近な面でいうと、グループワークで他人と意見が異なったときに自分の意見を伝えられない、まわりに合わせてしまうということ、私は経験したことがあります。しかし、他人の意見と違うからといって自分の意見をなかったことにしてしまうのは、自分を自分で消しているのだということに気づいたとき、私はそんな社会であってほしくないと思うようになりました。他人の考えや行動に自分も合わせようとすることに慣れていってしまったら、いつか自分を見失ってしまうのではないかと、同時に思いました。

他人と自分が違うからといって本来の自分を閉じこめるのではなく、そこで自分を出せるかどうか、自分らしく幸せに生きることにつながるのではないのでしょうか。

自分らしく幸せに生きるということ

《高校生・一般の部 入選》

広島皆実高等学校二年 新谷 優芽

自分らしく幸せに生きるというテーマについて考えたときに一番最初に思いついたのは、友達や家族、そして私自身の笑顔です。

私は、小さい頃から人を笑顔にすることが大好きです。自分の話に笑ってくれたり、友達とふざけたり、話したり、笑い合っていると、自分に共感してくれているんだと感じ、その瞬間に幸せを感じます。

私は高校一年生で老人保健施設に実習に行きました。そこでたくさんのおじいちゃん、おばあちゃんと会話をしました。その中で一人、私にあなたの話をしてくれとお願いされました。私は必死に学校であった面白かった話をしました。そうするとその方は笑顔でおもしろいと言ってくれました。その時私は、笑顔になってくれた、うれしいなと心の底から思いました。同時にもつとたくさんの人を笑顔にできるような人になりたいと思いました。

私は自分らしく人を笑顔にし、自分も笑顔になれるよう素直に生きていきます。